

事 務 連 絡
平成 25 年 7 月 23 日

各府省庁等情報セキュリティ担当課室長 殿
情報セキュリティ対策推進会議オブザーバー機関情報セキュリティ担当課室長等 殿

内閣官房情報セキュリティセンター
内閣参事官（政府機関総合対策促進担当）

Windows XP 等のサポート終了に係る注意喚起
並びに重点検査項目の追加について

日本マイクロソフト株式会社が提供するソフトウェア製品 Windows XP、Office 2003、Internet Explorer6（いずれも同社の登録商標）は、2014 年 4 月 9 日のサポート終了に伴い、同日以降はセキュリティ関連の脆弱性などを修正するための修正プログラムの提供は行われなくなる予定です（参考参照）。

サポート終了後に、Windows XP、Office 2003、Internet Explorer6 を使用することは、不正プログラム感染や不正アクセスによる情報漏洩などのリスクが高くなります。「政府機関の情報セキュリティ対策のための統一技術基準（平成 24 年度版）」（2.2.2.1 セキュリティホール対策）においても、政府機関の情報システムは、公開されたセキュリティホールへの対策を求めており、Windows XP、Office 2003、Internet Explorer6 を利用する情報システムは、上記サポート終了後はこれを満たすことができません。

各府省庁においては、サポート終了に伴うご対応を順次進めていただいていると存じますが、改めて自府省庁の情報システムについて、Windows XP、Office 2003、Internet Explorer6 の利用状況と、サポート終了に向けた対応計画を確認し、サポート終了までにソフトウェア更改等の適切な対応をお願いいたします。

また、本件に係る対応状況については、平成 25 年 7 月 16 日付事務連絡別添 2「重点検査結果の報告要領」に定める「情報セキュリティ上のトピックのうち重要性が見込まれる事項」に該当するため追加の検査項目として報告を頂きますようお願いいたします。なお、回答様式は他の重点検査項目と併せて別途配布する予定です。

（参考）

Windows XP/Office 2003 をご利用のお客様へ（日本マイクロソフト株式会社）

http://www.microsoft.com/ja-jp/windows/lifecycle/xp_eos.aspx

本件問い合わせ先
内閣官房情報セキュリティセンター
政府機関総合対策促進担当 山下、小宮山
(03-3581-3959)